



【挨拶】

## 2013年の年頭にあたって

日本禁煙科学会理事長 高橋裕子

日本禁煙科学会が発足して8年目を迎えました。新年にあたり、まず昨年の1年間に、会員のみなさまからお寄せいただいた温かいご支援に深く感謝申し上げます。

昨年の第7回日本禁煙科学会学術総会は、岩手大学保健管理センター教授の立身政信会長のもと、11月17日(土)・18日(日)の2日間にわたり、岩手県盛岡市のいわて県民情報交流センター(アイーナ)で開催いただきました。前開催地である沖縄をはじめ全国から延べ700名余の参加をいただき、非常に活気ある学術総会となりました。

東日本大震災・津波の甚大な被害からの復興への強い願いをこめて開催された本学術総会では、被災地のたいへんな状況の中からも質の高いご発表を頂戴し、参加者一同、胸があつくなりました。

特別講演には結核予防会顧問の島尾忠男先生と厚生労働省の野田博之たばこ対策専門官に、市民公開講座は岡山大学小児歯科の岡崎好秀先生にご講演をいただけたことも大きな喜びでした。アスリート禁煙支援、地域、職域、禁煙治療、歯科、薬剤師、心理、看護教育、ナースなど各分科会では禁煙支援の最先端をお教えいただきました。

立身会長は全国の大学に先駆けて岩手大学の敷地内禁煙化をリードしてこられました。その実績を生かしてキャンパスの禁煙化についても分科会を設けられました。さらに禁煙支援に役立つ心身スキルアップのとしての太極拳・気功・謡等の実技体験など、特色あるプログラムも盛り込まれ、参加者から多くの賛辞が寄せられました。

心に残るすばらしい学会を開催くださいました岩手大学と日本禁煙科学会・禁煙健康ネット(KK)岩手の皆様、そして復興への熱い思いをもって参加くださった全国の皆様に厚くお礼申し上げます

さて設立から8年目を迎えた本学会では、その理念を端的にあらわす語として、ホームページのトップに

うまくいった喜びを共感し、

うまいくように支えあう

そして笑顔で集う日本禁煙科学会

の標語を掲げました。この理念のもとに、今年も穏やかで着実な禁煙普及にむけて、引き続きさまざまな取り組みを実施します。

講習会や初級・中級禁煙支援士認定を通じて広く禁煙科学の概念を普及しうる人材の育成を続けること、分科会活動を通じて禁煙科学の発展に寄与する調査研究を推進すること、日韓ジョイントシンポジウム等の国際協力を推進することは本学会の活動の大きな柱です。

学術誌「禁煙科学」にも多数の投稿をお寄せいただき、全国の多くの団体や自治体・関係省庁とも協力関係をさらに推進します。

また、今年の第8回学術総会は高崎健康福祉大学(群馬県高崎市)にて、川島崇会長(群馬県医師会禁煙ネット会長・群馬医師会理事)のもとで開催いただく予定です。

さらにホームページでの禁煙支援や喫煙防止教育に役立つ資料のさらなる充実を図ります。

これらの活動を通じて、本学会がこれまで以上に会員のみなさまの禁煙普及活動と日本の禁煙の禁煙推進に寄与しうるものと確信しています。本年度も従前にもましての本学会へのご支援ご指導をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。